

資料1



平成29年度 千葉市下水道事業会計決算報告

1 事業の概況

- (1) 総括事項・・・・・・・・・・・・・・・・ P.2
- (2) 事業実績・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3

2 平成29年度決算

- (1) 収益的収入・支出・・・・・・・・ P.5
- (2) 予算と決算の比較【収益的収入・支出】・ P.6
- (3) 資本的収入・支出・・・・・・・・ P.7
- (4) 予算と決算の比較【資本的収入・支出】・ P.8

3 財務状況

- (1) 経営状況・・・・・・・・ P.9
- (2) 損益計算書・・・・・・・・ P.11
- (3) 貸借対照表（バランスシート）・・・・ P.12
- (4) キャッシュ・フロー（C F）計算書・・・・ P.13

4 中長期経営計画の進捗状況

- (1) 損益計算書・・・・・・・・ P.14
- (2) 資本的収支・・・・・・・・ P.15

5 平成29年度決算における重点事務事業

- (1) 重点事務事業の決算・・・・・・・・ P.16
- (2) 主要事業の実績・・・・・・・・ P.17



- 注1 単位未満を四捨五入で表示しているため、合計が一致しない場合があります。
- 2 本資料においては、千葉市下水道事業中長期経営計画（計画期間：平成22～32年度）を「中長期経営計画」と表示しています。

1 事業の概況（1）総括事項

下水道は、快適で衛生的な生活環境への改善、雨水排除による浸水の防除及び公共用水域の水質の保全のため、欠くことのできない重要な都市基盤施設であるとともに、地球環境に配慮した循環型社会の形成に大きな役割を担っています。

本市では、下水道を千葉市新基本計画に基づく第2次実施計画において、

■安全で災害に強いまちづくりの推進

■快適な生活環境の整備のために必要な施設

として位置づけ、引き続き、

- ・浸水被害を軽減するための雨水対策
- ・水環境保全のための高度処理
- ・下水道施設の再構築
- ・污水管きよ整備

を推進したほか、施設の老朽化や耐震化のための改築・更新や維持管理の充実などに努めました。

このうち、污水管きよ整備については、行政区域面積27,208haの48.5%にあたる、13,191haを全体計画面積と定め、これを中央、南部及び印旛の3処理区に分け、整備を推進しています。

1 事業の概況 (2) 事業実績

平成29年度末の事業計画面積は、13,121haで、このうち、12,279haが整備済みとなり、整備率は、93.6%となりました。

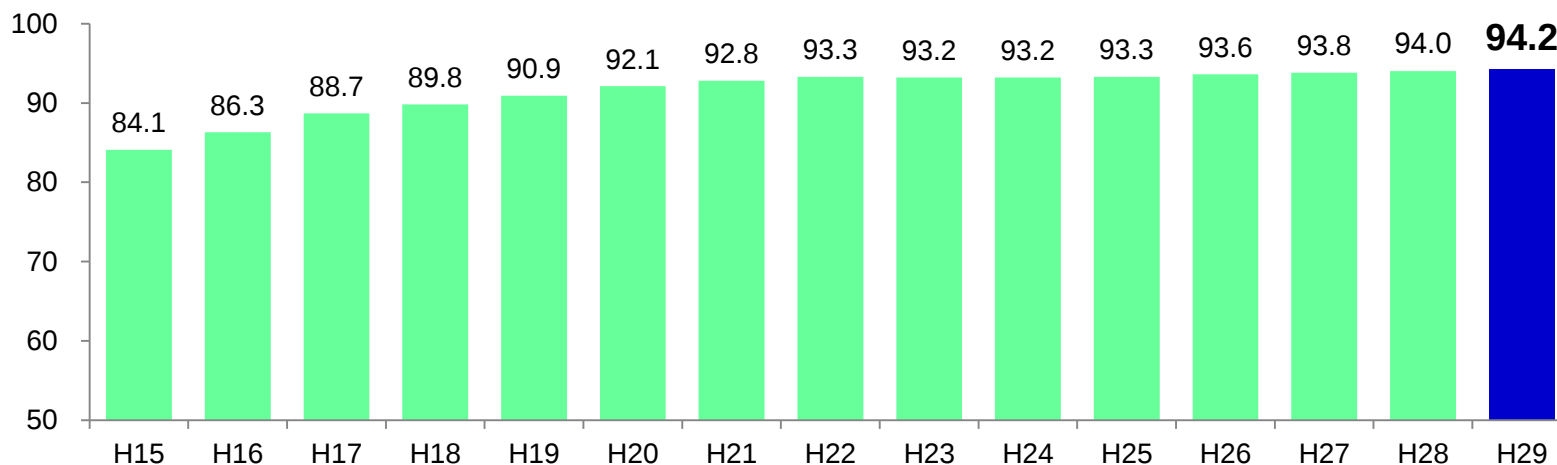
また、行政区域内人口967,966人に対し、整備区域内人口は、941,710人となり、下水道処理人口普及率は、97.3%となりました。

このうち、接続人口については、前年度より2,528人増加し、937,324人となり、接続率は99.5%となりました。

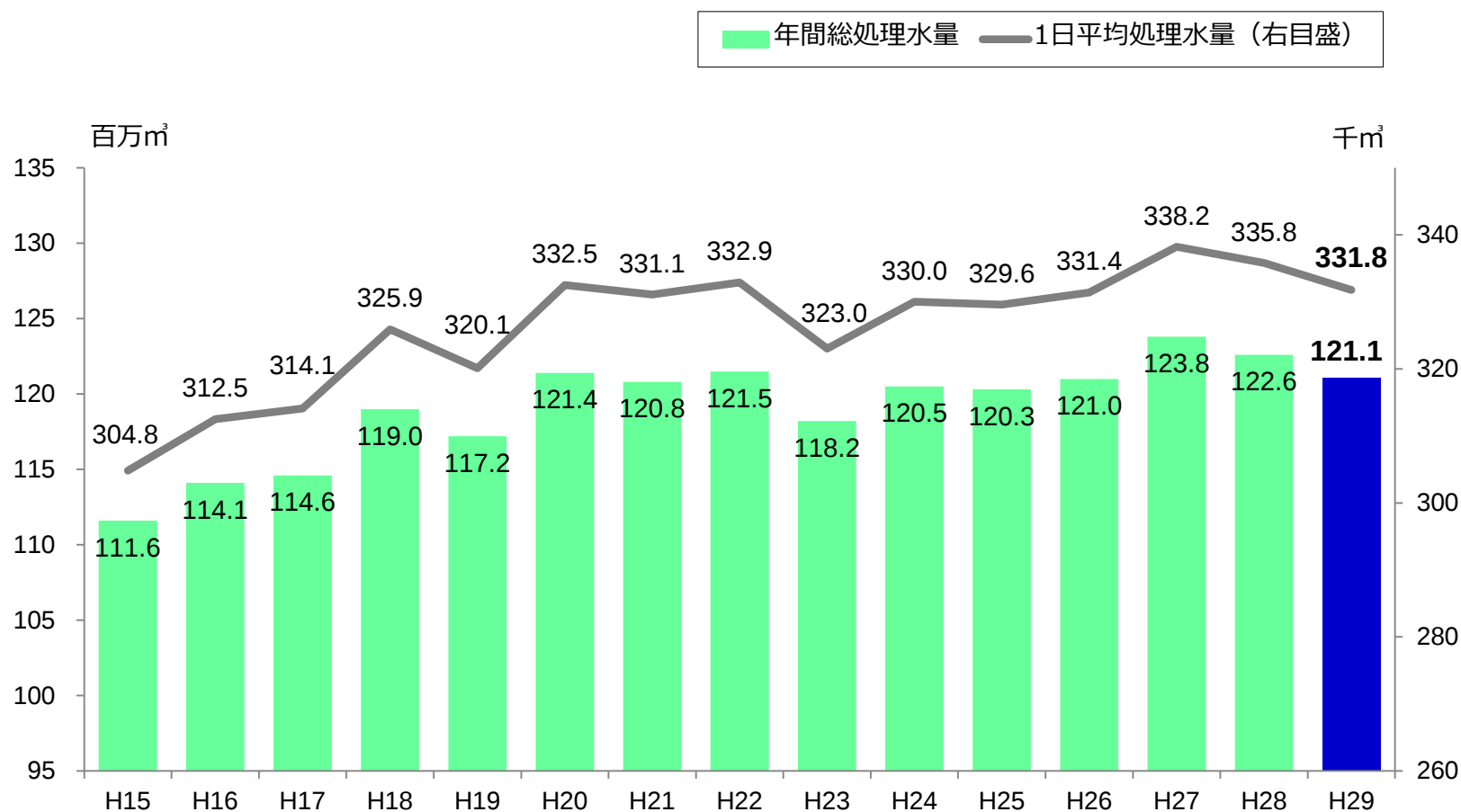
この結果、年間総処理水量は、1億2,112万2,199m³（1日平均処理水量33万1,842m³）となっています。

整備区域内人口

万人



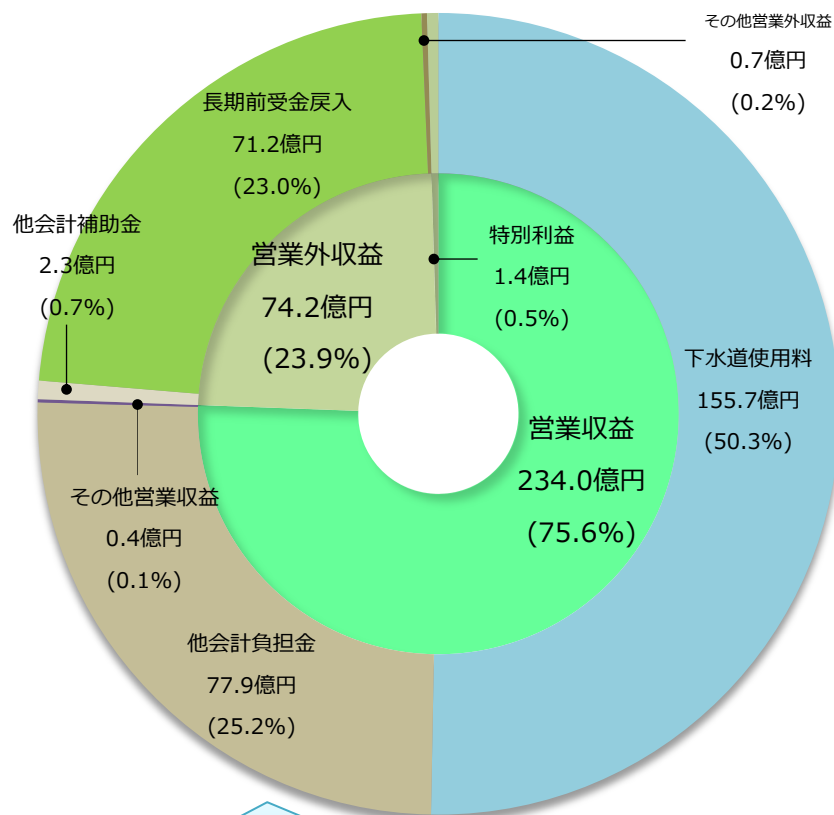
年間総処理水量・1日平均処理水量



2 平成29年度決算 (1) 収益的収入・支出

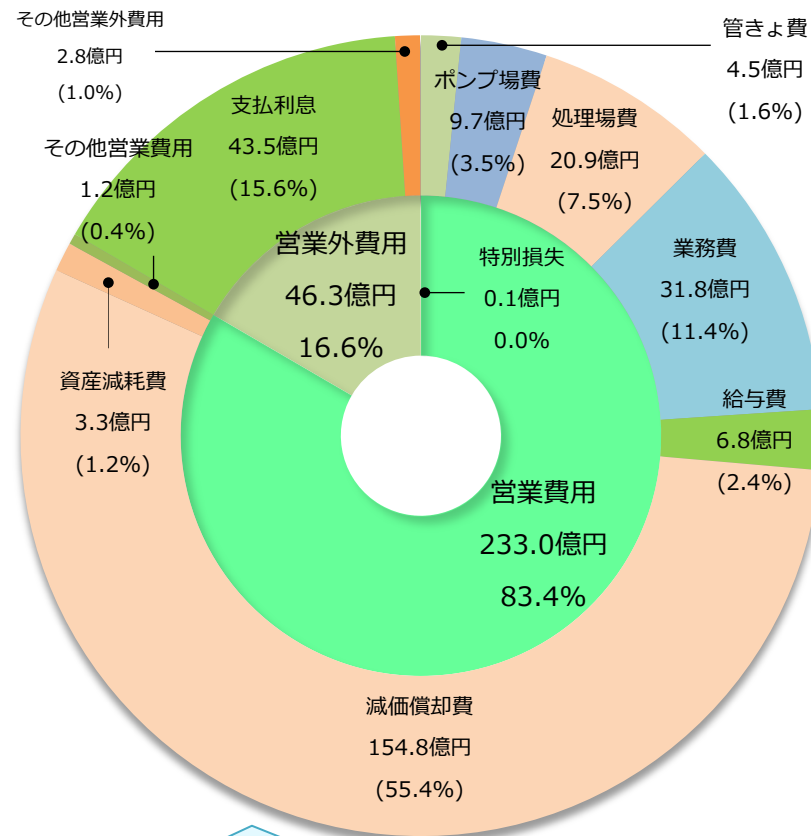
金額は税込み

収益的収入 309.6億円



収益的収入は、下水道使用料などの営業収益233億9,703万円、他会計補助金などの営業外収益74億2,268万円、特別利益が1億4,255万円、合計309億6,226万円となっています。

収益的支出 279.4億円



収益的支出は、管渠費、ポンプ場費、処理場費などの営業費用232億9,705万円、支払利息などの営業外費用が46億3,575万円、そのほか特別損失などを加え、合計279億4,155万円となっています。

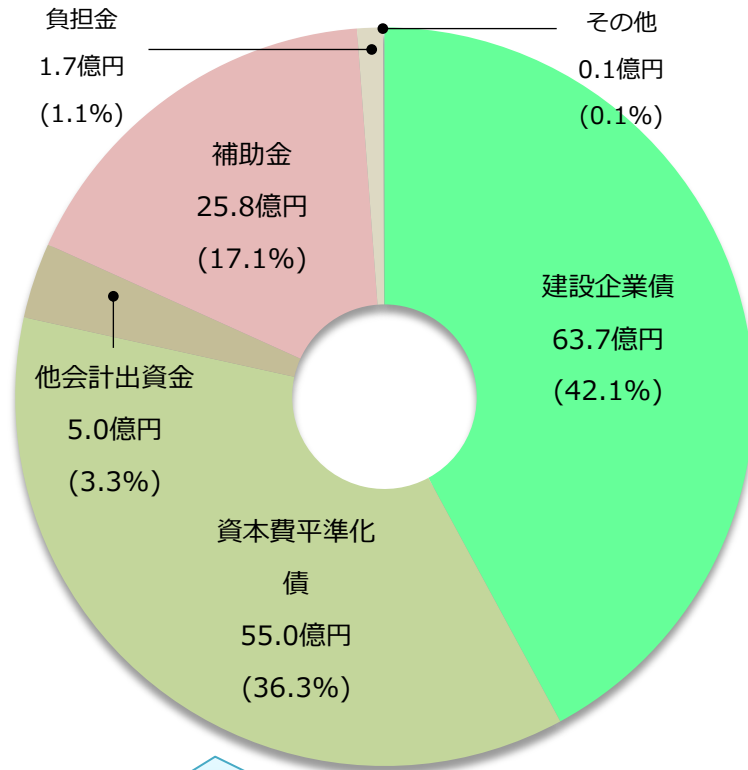
2 平成29年度決算 (2) 予算と決算の比較【収益的収入・支出】

(単位：百万円・税込)	予算現計額	決算額	増減額	収入率／執行率	主な増減要因
1 収益的収入（下水道事業収益）	31,446	30,962	▲484	98.5%	
（1）営業収益	23,581	23,397	△184	99.2%	
①下水道使用料	15,625	15,570	△55	99.6%	
②他会計負担金	7,919	7,789	△130	98.4%	
③その他	37	38	+1	102.7%	一般会計が負担する費用の減（主に減価償却費・資産減耗費の減）
（2）営業外収益	7,847	7,423	△424	94.6%	
①他会計補助金	268	230	△38	85.8%	
②長期前受金戻入	7,506	7,125	△381	94.9%	資産減耗費に対応した長期前受金収益化額の減
③その他	73	68	△5	93.2%	
（3）特別利益	18	142	+124	788.9%	
2 収益的支出（下水道事業費用）	29,175	27,941	▲1,234	95.8%	
（1）営業費用	24,204	23,297	△907	96.3%	
①維持管理費	8,205	7,485	△720	91.2%	印旛沼流域下水道維持管理負担金の減、包括的民間委託の燃料費調整等による委託料の減
②減価償却費	15,479	15,478	△1	99.9%	
③資産減耗費	520	334	△186	64.2%	固定資産の除却を伴う更新改良工事の減少
（2）営業外費用	4,950	4,635	△315	93.6%	
①支払利息	4,593	4,356	△237	94.8%	企業債の借入利率の減（予算1.3～1.8% 決算0.098～0.6%）
②その他	357	279	△78	78.2%	
（3）特別損失	11	9	△2	81.8%	
（4）予備費	10	0	△10	0.0%	

2 平成29年度決算 (3) 資本的収入・支出

金額は税込み

資本的収入 151.3億円

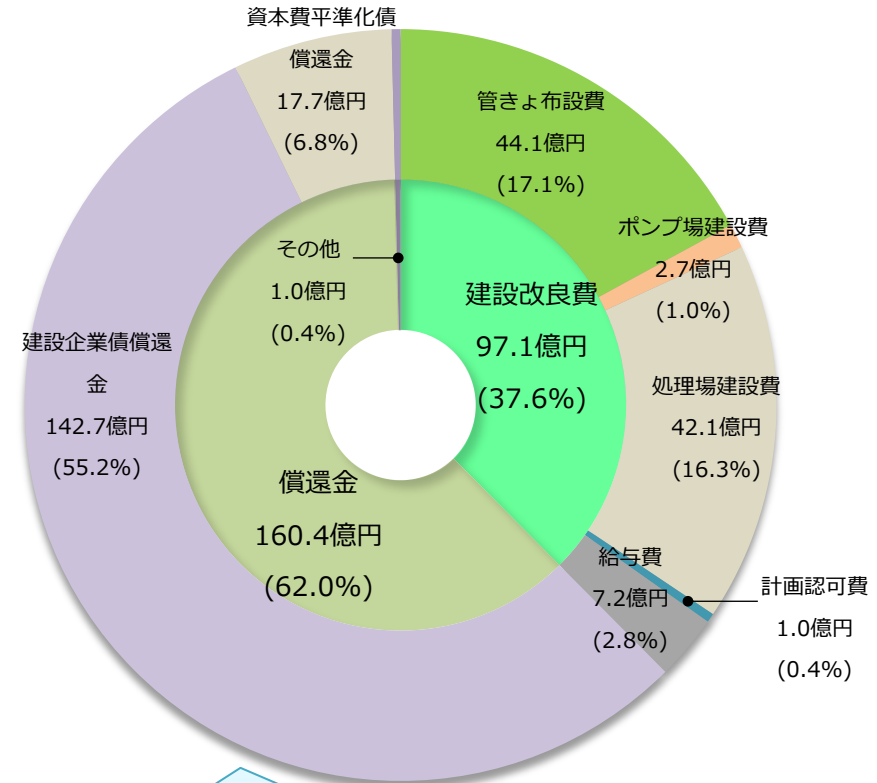


建設企業債及び資本費平準化債118億7,090万円、国等からの補助金25億8,244万円、その他水洗面所普及事業収入などを加え、合計151億3,156万円となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額108億5,595万円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金等で補てんします。

注 建設企業債63.7億円には、前年度財源充当額1.4億円を含む

資本的支出 258.5億円



建設改良費97億639万円、建設企業債などの償還金160億3,479万円、その他施設利用負担金などの固定資産購入費や水洗面所普及事業費などを加え、合計258億4,611万円となっています。

2 平成29年度決算 (4) 予算と決算の比較【資本的収入・支出】

(単位：百万円・税込)	予算現計額	決算額	増減額	収入率／執行率	主な増減要因
1 資本的収入	20,978	15,131	▲5,847	72.1%	
(1) 企業債	15,082	11,871	△3,211	78.7%	
①建設企業債	9,195	6,371	△2,824	69.3%	起債対象となる建設改良費の減
②流域下水道負担金債	30	0	△30	0.0%	
③資本費平準化債	5,857	5,500	△357	93.9%	
(2) 他会計出資金	509	497	△12	97.6%	
(3) 補助金	5,227	2,582	△2,645	49.4%	国庫補助事業の対象となる建設改良費の減
(4) 負担金	143	172	+29	120.3%	
(5) その他	17	9	△8	52.9%	
2 資本的支出	31,427	25,846	▲5,581	82.2%	
(1) 建設改良費	15,207	9,706	△5,501	63.8%	・ 翌年度への繰越工事33.9億円 ・ 建設事業の内容精査、入札差金等による不用額21.1億円
①管きょ布設費	6,865	4,407	△2,458	64.2%	
②ポンプ場建設費	1,099	272	△827	24.7%	
③処理場建設費	6,281	4,203	△2,078	66.9%	
④計画認可費	129	101	△28	78.3%	
⑤給与費	833	723	△110	86.8%	
(2) 固定資産購入費	61	51	△10	83.6%	
(3) 償還金	16,072	16,035	△37	99.8%	
①企業債償還金	14,302	14,265	△37	99.7%	
②資本費平準化債償還金	1,770	1,770	0	100.0%	
(4) その他	87	54	△33	62.1%	

注1 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、補てん財源を使用

2 建設企業債6,371百万円には、前年度分許可済企業債141百万円を含む

補てん財源：現金支出のない費用や減債積立金等による内部留保資金

3 財務状況 (1) 経営状況

平成29年度の業績

()は対前年度増減

金額は税抜き

◆下水道使用料 **144.2億円** (+11.0億円)

有収水量 **103,570,280m³** (+7,718,044m³)

前年度は、千葉県水道局との上下水道料金徴収一元化に伴い、請求が1か月分多かったため。
(平成29年度のみ13か月分)

◆当年度純利益 **25.5億円** (+7.1億円)

減債積立金(企業債の償還財源)に積み立てます。

◆汚水処理費 **118.4億円** (+3.5億円)

汚水処理にかかった費用で、汚水処理に係る施設の維持管理費や減価償却費等の資本費です。

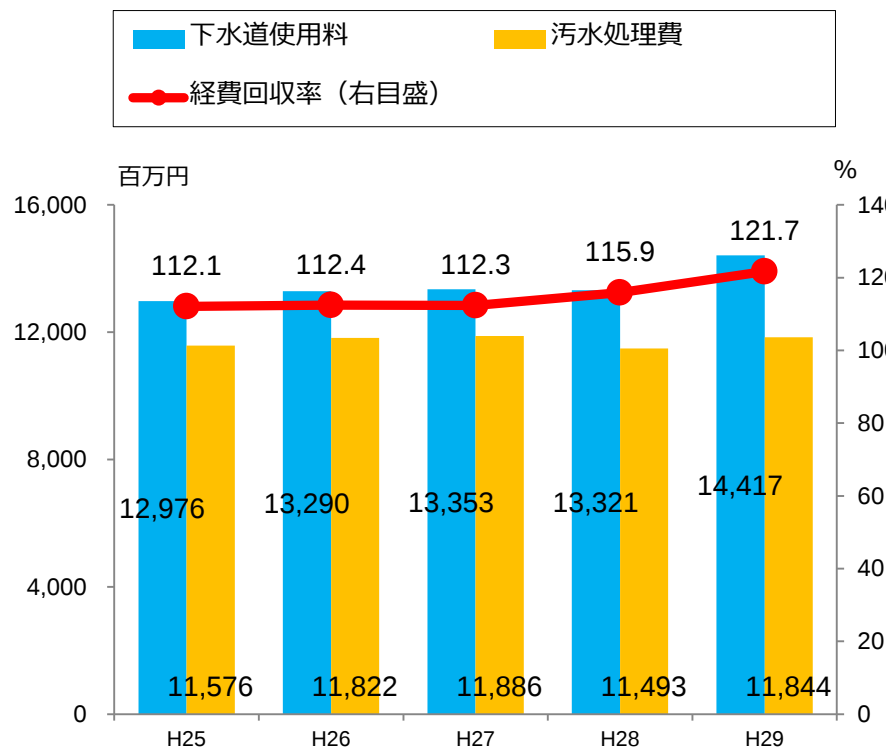
◆経費回収率 **121.7%** (+5.8ポイント) ※高いほど良い

汚水処理費を下水道使用料でどの程度賄えているかを示した指標で、100%以上であれば下水道使用料で賄えていると言えます。

◆経常収支比率 **108.9%** (+2.4ポイント) ※高いほど良い

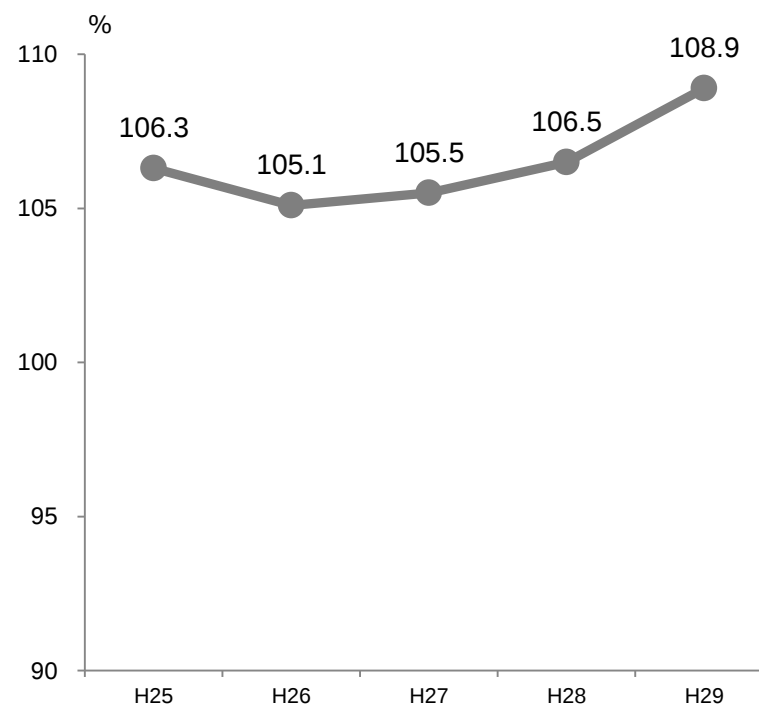
維持管理費など毎年支出する経常的な費用を、下水道使用料など毎年収入する経常的な収益でどの程度賄えているかを示した指標で、100%以上であれば単年度収支は黒字となります。

下水道使用料・污水处理費・経費回収率



経費回収率(%)=下水道使用料÷污水处理費×100

経常収支比率



経常収支比率(%)

= (営業収益 + 営業外収益) ÷ (営業費用 + 営業外費用) × 100

3 財務状況 (2) 損益計算書

(単位：百万円・税抜)	H28年度	H29年度	増減額	増減率
1. 営業収益	21,322	22,241	+ 919	+ 4.3%
2. 営業費用	22,596	22,821	+ 225	+ 1.0%
営業利益	△1,274	▲580	+ 694	+ 54.5%
3. 営業外収益	7,772	7,425	△347	△4.5%
4. 営業外費用	4,713	4,419	△294	△6.2%
経常利益	1,785	2,426	+ 641	+ 35.9%
5. 特別利益	60	133	+ 73	+ 121.7%
6. 特別損失	2	8	+ 6	+ 300.0%
当年度純利益	1,843	2,551	+ 708	+ 38.4%
営業収支比率	94.4%	97.5%	+ 3.1ポイント	
経常収支比率	106.5%	108.9%	+ 2.4ポイント	

営業収支比率（％）＝営業収益÷営業費用×100

経常収支比率（％）＝（営業収益＋営業外収益）÷（営業費用＋営業外費用）×100

3 財務状況 (3) 貸借対照表（バランスシート）

(単位：百万円)		H28年度	H29年度	増減額
資産		476,225	478,093	+ 1,868
	1. 固定資産	469,990	466,923	△3,067
	2. 流動資産	6,235	11,170	+ 4,935
負債		428,364	427,151	△1,213
	3. 固定負債	226,739	222,345	△4,394
	4. 流動負債	20,392	24,584	+ 4,192
	5. 繰延収益	181,233	180,222	△1,011
資本		47,861	50,942	+ 3,081
	6. 資本金	23,839	25,949	+ 2,110
	7. 剰余金	24,022	24,993	+ 971
自己資本構成比率		48.1%	48.4%	+ 0.3ポイント

自己資本構成比率(%)= (資本金+剰余金+繰延収益) ÷ 負債資本合計×100

3 財務状況 (4) キャッシュ・フロー (CF) 計算書

(単位：百万円)	H28年度	H29年度	増減額
1. 業務活動によるCF	8,057	13,099	+5,042
2. 投資活動によるCF	△5,902	▲7,170	△1,268
3. 財務活動によるCF	△2,517	▲2,332	+185
資金増減額	△362	3,597	+3,959
資金期首残高	4,675	4,313	△362
資金期末残高	4,313	7,910	+3,597
フリーキャッシュ・フロー	2,155	5,929	+3,774
業務CF対流動負債比率	39.5%	53.3%	+13.8ポイント

フリーキャッシュ・フロー＝業務活動によるCF＋投資活動によるCF

業務CF対流動負債比率（％）＝業務活動によるCF÷流動負債×100

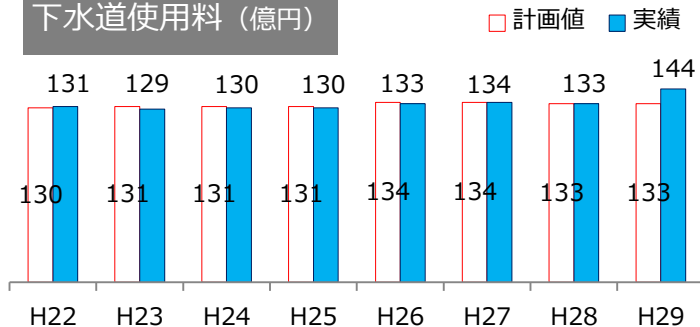
4 中長期経営計画の進捗状況 (1) 損益計算書

(単位：百万円・税抜)	平成29年度		
	計画値	決算額	計画対比
1 下水道事業収益	22,123	29,799	134.7%
(1) 営業収益	21,780	22,241	102.1%
①下水道使用料	13,318	14,417	108.3%
②一般会計負担金	8,429	7,789	92.4%
③その他	33	35	106.1%
(2) 営業外収益	304	7,425	2,442.4%
①長期前受金戻入	—	7,125	皆増
②その他	304	300	98.7%
(3) 特別利益	39	133	341.0%
2 下水道事業費用	21,280	27,248	128.0
(1) 営業費用	16,070	22,821	142.0
①維持管理費	7,061	7,009	99.3
②減価償却費等	9,009	15,812	175.5
(2) 営業外費用	5,079	4,419	87.0
①企業債利息	5,042	4,356	86.4
②その他	37	63	170.3
(3) 特別損失	131	8	6.1
当年度純利益 (△は損失)	843	2,551	302.6

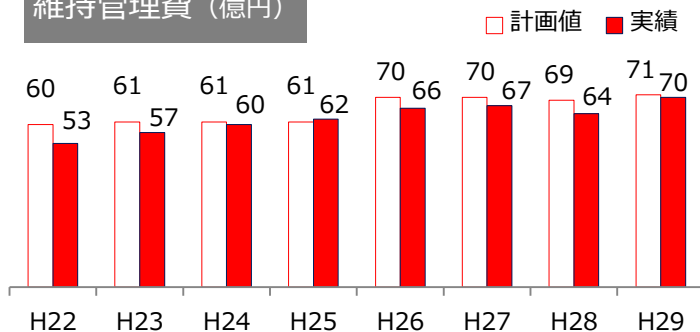
経常収支比率 (%)



下水道使用料 (億円)



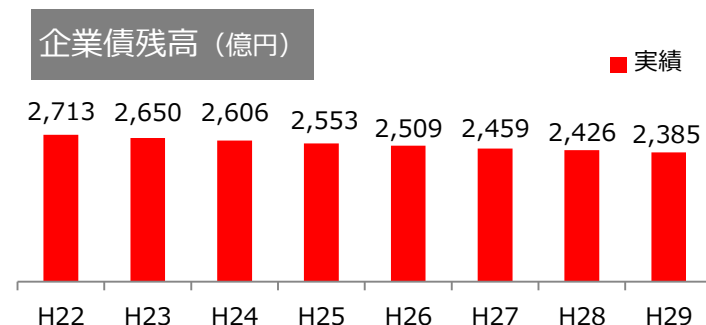
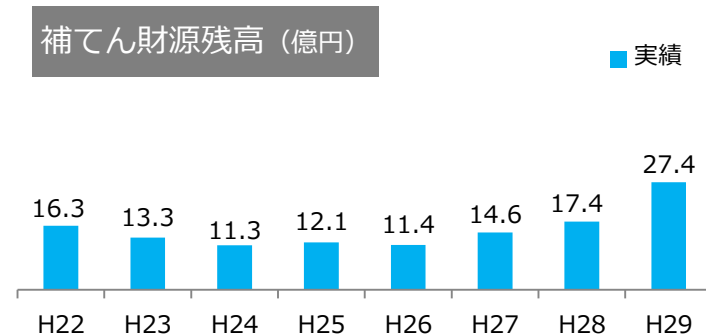
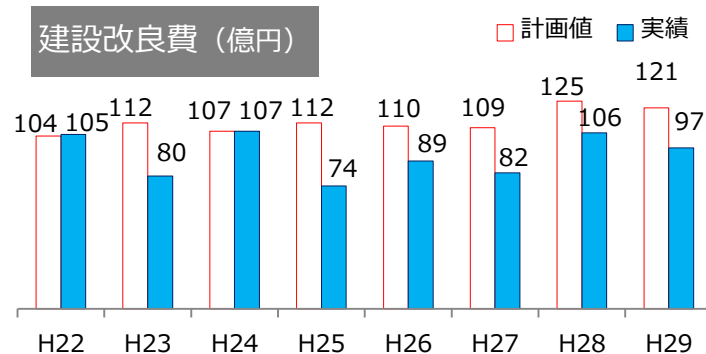
維持管理費 (億円)



4 中長期経営計画の進捗状況 (2) 資本的収支

(単位：百万円・税込)	平成29年度		
	計画値	決算額	計画対比
1 資本的収入	17,328	14,990	86.5%
(1) 企業債	12,926	11,730	90.7%
①建設企業債	7,320	6,230	85.1%
②資本費平準化債	5,606	5,500	98.1%
(2) 国庫補助金	3,750	2,515	67.1%
(3) 一般会計出資金	511	497	97.3%
(4) その他	141	248	175.9%
2 資本的支出	28,188	25,846	91.7%
(1) 建設改良費	12,133	9,706	80.0%
(2) 企業債償還金	16,015	16,035	100.1%
①建設企業債	14,224	14,265	100.3%
②資本費平準化債	1,791	1,770	98.8%
(3) その他	40	105	262.5%
収入が支出に不足する額 (△)	△10,860	△10,856	99.9%
企業債残高 (年度末)	244,705	238,476	97.5%

1 (1) ①の建設企業債の決算額6,230百万円は、前年度財源充当額141百万円を除いている。

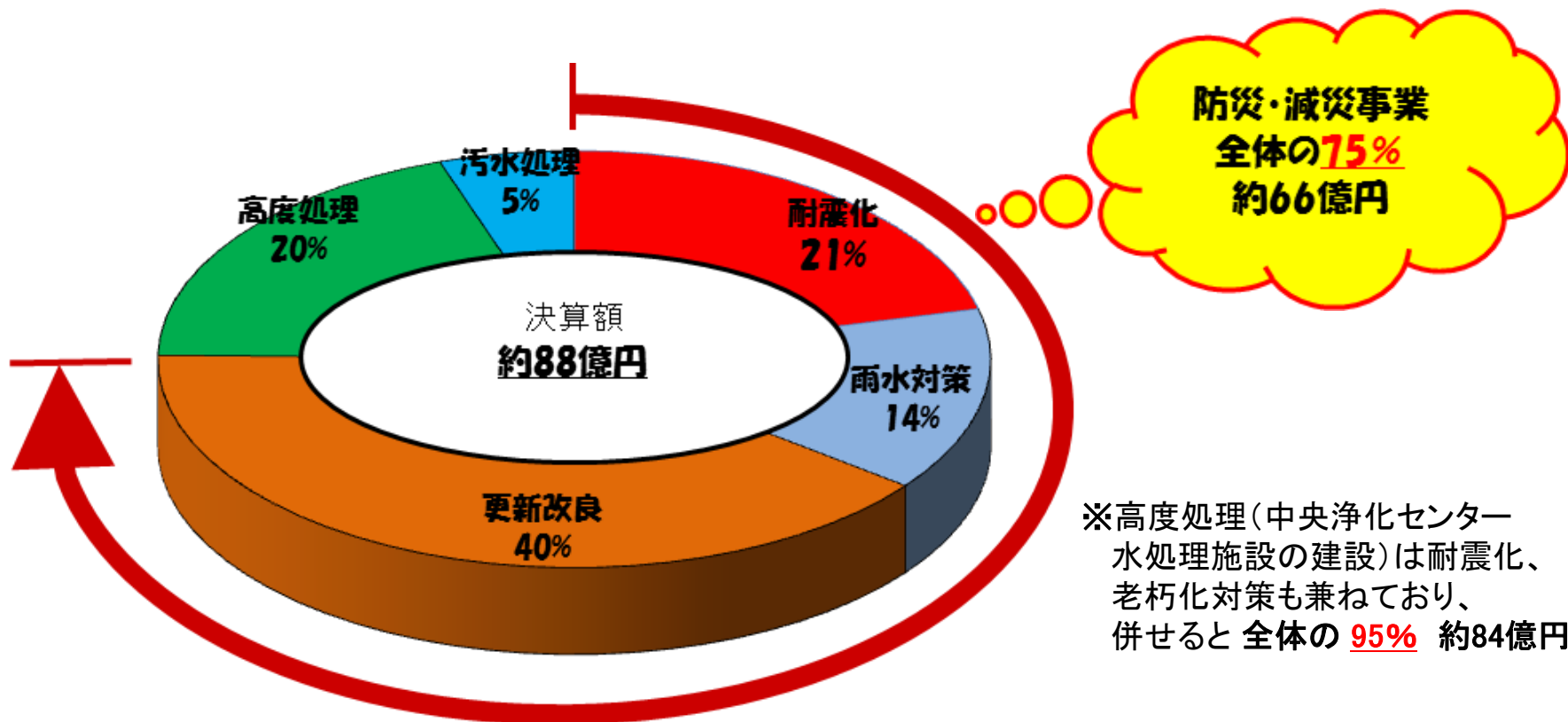


5 平成29年度決算における重点事務事業 (1) 重点事務事業の決算

防災・減災事業を重点化！～安全・安心のまちづくりに向けて～

◆平成29年度の決算額と施策毎の割合(%)

●平成29年度決算額 **8,805,749千円** (予算 11,938,323千円)



5 平成29年度決算における重点事務事業 (2) 主要事業の実績

◆主要事業

(1) 下水道施設の耐震化 1,861,479千円 (予算:3,184,758千円)

①管渠の耐震化 11.0km 【耐震化 進捗率69%(59/86km) 約7割完了】

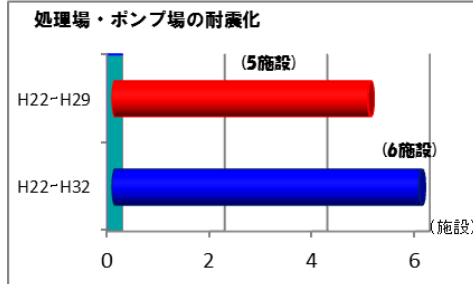
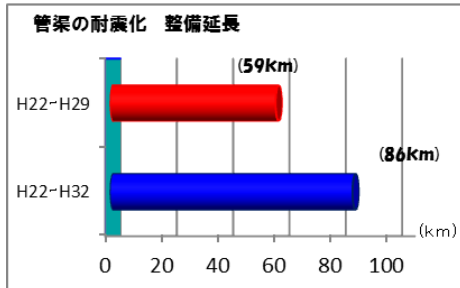
美浜区：高浜地区 他 東日本大震災で被災した美浜区を重点的に整備
 若葉区：大宮台地区 他 液状化の危険性が高い地区を実施
 緊急輸送路下などの管渠を実施

②施設の耐震化 【処理場等の耐震化 5/6箇所完了】

南部浄化センター沈砂池機械室棟耐震補強工事
 (平成29年度～平成30年度継続)



下水道事業中長期経営計画
(H22～32) 進捗状況

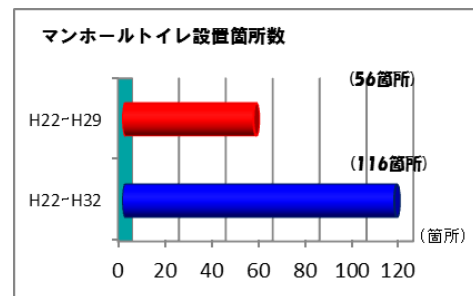
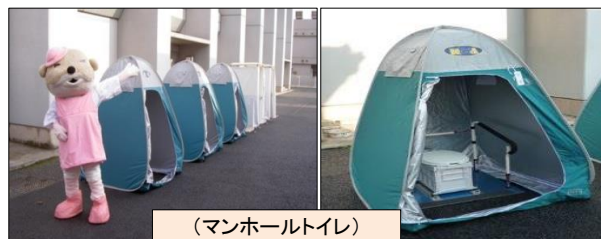


③マンホールトイレの設置 3箇所(15基) 【避難所となる小学校などにマンホールトイレ 56/116箇所設置完了】

千草台東小学校 他



避難所でも安心して
トイレが使えます



(2) 雨水対策の推進 1,255,853千円 (予算:1,485,259千円)

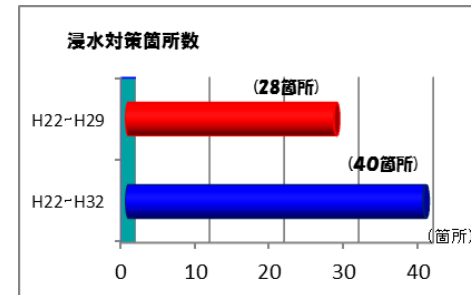
①雨水整備 3.1km 【9地区を整備 浸水対策 28/40箇所完了】

園生地区 他8地区

園生町の増補管を設置し、
浸水被害の軽減を図りました。

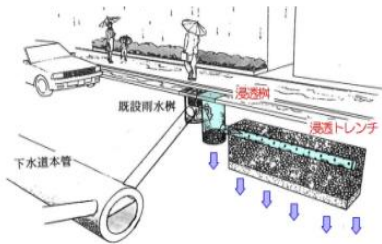
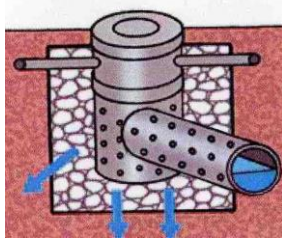


下水道事業中長期経営計画
(H22～32) 進捗状況



②浸透施設整備

こてはし台地区 他2地区



③助成制度

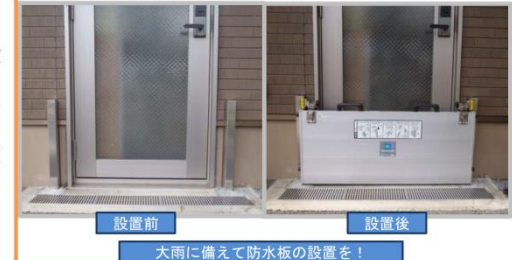
防水板設置費用の一部を助成



ハード対策に加え、
ソフト対策も行っています

防水板設置工事に助成金を交付

市では、浸水被害の軽減を図るため、住宅・マンションなどの防水板設置工事に助成金を交付しています。
申請方法など詳しくは、お問い合わせいただくか、市ホームページ、パンフレット(下水道計画課、区役所地域振興課、公民館、土木事務所で配布)をご覧ください。



対象 浸水被害が発生した地域などで、防水板の設置を行う方(法人含む)
助成額 費用の2分の1(1建物につき上限75万円)
問い合わせ 雨水対策課 (T)245-5613 (F)245-5497

(3) 下水道施設の更新・改良 3,511,342千円 (予算:5,037,800千円)

① 浄化センター・ポンプ場設備の更新

南部浄化センター、黒砂ポンプ場

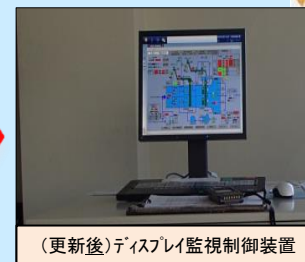


下水道の機能を
適正に維持します

老朽化した処理場・ポンプ場設備の改築を
計画的に進めており、安定的な下水道サービス
を提供しています。



(更新前) 監視操作卓



(更新後) ディスプレイ監視制御装置



(更新前)



(更新後)

② 南部浄化センター汚泥焼却炉の更新

(平成27年度～平成29年度 債務負担)



老朽化した焼却炉の
更新を行います



(更新前)



(更新後)

③南部浄化センター汚泥消化タンクの建設

(土 木 平成28年度～平成29年度継続 機械 平成29年度～平成30年度継続)



下水処理工程から出る
汚泥の減容化を図ります

汚泥消化工程で発生する消化ガスをボイラーの代替燃料や
発電に利用し、下水道資源の有効利用を行っています。



既設3-1系 汚泥消化タンク

④管渠の改良 8.5km【改築更新 進捗率56% (51/91km) 約6割完了】

小倉台地区 他2地区



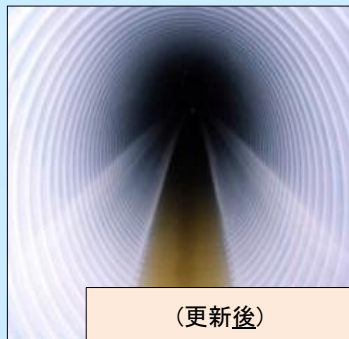
道路陥没を未然に防止
します



(事例: 道路陥没)



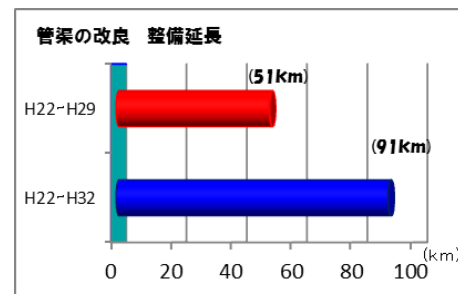
(更新前)



(更新後)



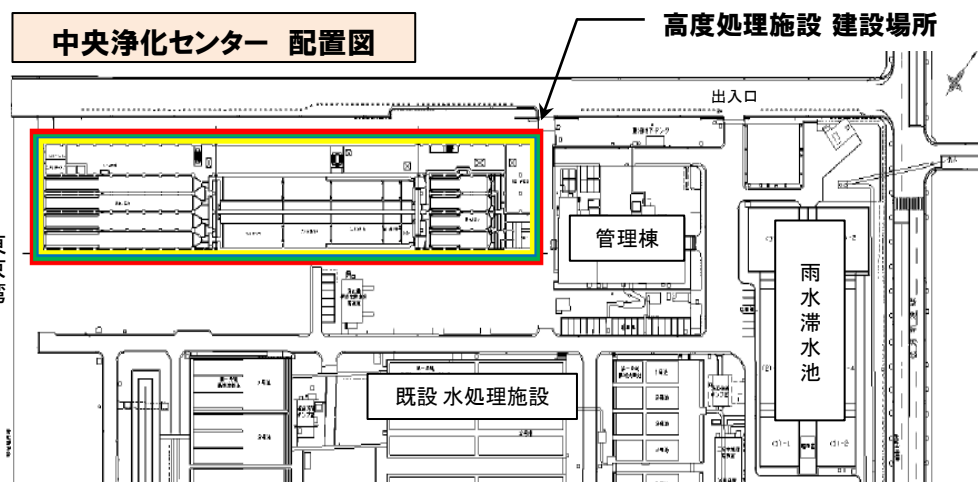
下水道事業中長期経営計画 (H22～32) 進捗状況



(4) 高度処理化の推進 1,715,520千円 (予算:1,747,600千円)

中央浄化センター水処理施設の建設工事

(平成27～平成30年度継続)



東京湾で発生する赤潮・青潮の発生要因の一部となる処理水に含まれる窒素・リンを除去します。

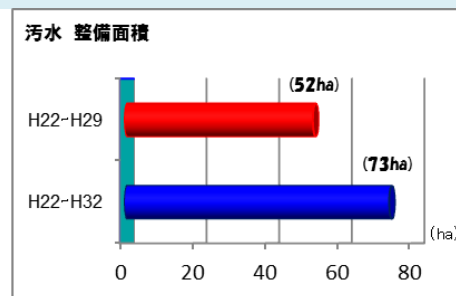


(5) 汚水処理施設の整備 461,555千円 (予算:482,906千円)

汚水整備 6ha【22地区を整備 汚水整備(52/73ha)完了】

長沼地区 他 13 地区

下水道事業中長期経営計画
(H22～32) 進捗状況





イメージキャラクター
「カワウソ一家」
左上：アクア（パパ）
右上：クリーン（ママ）
中央下：かわちゃん（女の子）